

済生会は医療連携を通して、地域の診療所と共に皆様の健康をリレーします。



平成23年5月
済生会は
創立100周年を
迎えました

明治44年創立 100周年

Baton

地域医療連携室だより

春号
vol.60

平成24年4月1日発行



— 撮影 —
消化器内科
本間 照



TOPICS

- P2 【特集】
平成24年度診療報酬改訂と
当院の医療連携について
- P4 登録医紹介(さかつめ内科・羽賀心臓血管外科クリニック)
- P6 職場探訪(B 3病棟・B 4病棟)
- P7 がん診療セミナー2012
- P8 インフォメーション

地域医療支援病院 臨床研修病院 地域がん診療連携拠点病院



済生会新潟第二病院・地域医療連携室

新潟市西区寺地280-7 TEL 025-233-6182 FAX 025-231-5763

<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>

平成24年度診療報酬改定と 当院の医療連携について

平成24年4月、2年に一度の診療報酬改定が行われました。
特に今回は、介護報酬改定と同時改定、前回の平成22年度の改定以上に
医療福祉の連携強化が謳われております。

今回の診療報酬改定の重点課題の1つにも
「医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化と推進、
及び地域生活を支える在宅医療の充実」とあり、
当院が今まで進めてきた医療連携体制の構築を強化する視点が
随所に盛り込まれております。

一方、地域医療支援病院についても、厚生労働省が3月15日に
「特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会」の
初会合を開き、かねてから議論のあった、
地域における地域医療支援病院の意義と役割について検討が深められます。
このように医療連携を取り巻く状況は、
今まで以上に各機関の役割分担強化の方向に進んでおります。



▶ 病院アクションプランと医療連携 — 医療連携総会にて

このような状況の中、3月17日（土）に第6回医療
連携総会を開催いたしました。当日は、登録医をはじめ
とした連携医療機関の医師はじめ連携担当者と、当
院医師・医療連携スタッフ等の約60人が参加いたしま
した。はじめに当院院長 吉田俊明が、今回の診療報酬
改定を踏まえた病院アクションプラン（図1）とこれか
らの医療連携について講演を行いました。続いて当院
地域医療連携室 斎川克之から、次年度アクションプラ
ンの骨子として「地域における連携ネットワークの強
化」、「機能の違う病院間の役割分担の強化」、「疾患別
の連携ネットワークの強化」を掲げ、また同時に医療
連携の実績報告を行いました。これからも当院は、病
診連携を基盤とした医療連携を中心に、地域における
医療機関相互の役割分担の
推進と地域包括システ
ムの強化に尽力して
まいります。



戦略テーマ

1. がん治療の強化 2. 地域医療連携の再構築 3. 医師の確保

アクションプラン

テーマ	がん治療の強化	地域医療連携の再構築	医師の確保
	早期発見・早期治療によるQOLの向上 やさしい医療の提供	新潟の医療を支える (救急医療・在宅医療のサポート)	強化分野を担える医師労働力の確保と 地域の医師の現場復帰をサポートし、手 厚い医療を提供する
戦略目標	がん検診受診者の増加 がん精密検査者数のうち当院受診者数の増加 乳がん・肺がんの症例数増加 放射線治療症例の増加 化学療法症例の増加	救急搬送件数の増加 新潟市全体の搬送数に占める比率を向上 外来患者数の適正化	放射線治療医・ 呼吸器外科医・臨床腫瘍医の採用 救急総合診療医の採用 (後期研修医の採用も含めて) 潜在医師の復職支援
戦術	検診センターの充実(内視鏡) がん患者アメニティの向上 先進医療機器の調査・導入 先進的治療の積極的導入 精神サポート体制の構築	救急外来の充実 地域医療ネットワークのサポート 日帰り手術センターの設置 地域行政との連携を強化	救急総合診療科の設置と専門領域との 連携構築 学術支援センターの設置 多様な雇用形態の構築 (生活とキャリアの両立)
リーダー	副院長酒井	副院長多賀	院長吉田

(図1)

しもまち地域連携ネットワーク総会の開催について

去る3月16日(金)、しもまち(新潟市中央区の寄居・二葉・舟栄圏域)の医療・福祉・介護機関を対象に、「しもまち地域連携ネットワーク総会」を開催いたしました。参加者は170名と、医療・福祉・介護連携の関心の深さがうかがえます。しもまち地域連携ネットワークは、平成22年から前田内科医院、ひろさわ内科医院、東堀内科放射線科クリニック、済生会新潟内科診療所の4人の先生方と当院とで、しもまちの医療連携について協議を重ねてまいりました。昨年10月には、新潟市在宅医療ネットワーク推進事業のモデル事業の一つにも選出され現在に至ります。当日は、4名のシンポジストによる発表があり、参加者を含めて活発な意見交換がされました。その後の参加者相互の意見交換会でも、各施設紹介なども行われ、まさにFace to Faceの交流が盛大に行われました。これから当ネットワークは、診療所間の連携強化と地域関係機関・多職種のネットワーク構築を強め、患者さん・利用者と共に地域を支える体制を作ってまいります。



さいごに

診療報酬改定、地域医療支援病院のあり方に対する議論、またこれから見直しされる地域医療計画と、医療・福祉・介護を取り巻く状況は、ますます地域包括体制の強化に向かっています。また今後も地域における関係機関相互が共に議論し合える環境整備に尽力してまいりたいと思いますので、皆様方のご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。



オープンシステム



医療法人ナーシングメディカルクリニック さかつめ内科
内科

さかつめ みのる
坂爪 実先生



専門領域

内科全般（総合内科専門医）

高血圧・腎臓病・アレルギー・膠原病・脂質異常症・糖尿病

医師・医院PR

平成22年11月に開院した一般内科の診療所です。心のつながりを大切に「やさしくわかりやすい」医療を心がけています。一般内科の外来とともに在宅の訪問診療を行っています。高血圧・慢性腎臓病・糖尿病・脂質異常症などの成人病の専門外来と、地域の「かかりつけ医」としてお役に立てるよう一般内科診療、健康診断、ワクチン接種を行っています。また、有料老人ホーム（ナーシングホーム文京町・青山・松美台）に入居されている医療必要度の高い方の訪問診療を担当しています。

<http://sakatsume-naika.or.jp/>

さかつめ内科

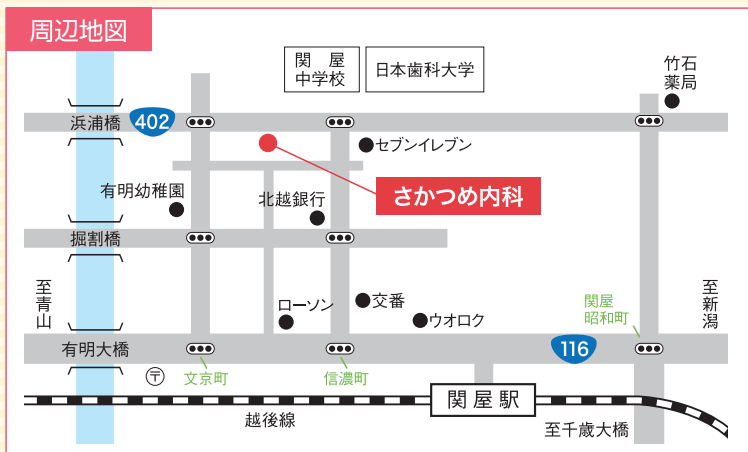
検索

医療法人ナーシングメディカルクリニック
さかつめ内科
内科

〒951-8153 新潟市中央区文京町27-30
☎025-234-7217

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
15:30~18:00	○	○	×	○	○	×

◎休診日／水・土曜午後 日曜祝祭日



登録医訪問

羽賀心臓血管外科クリニック

心臓血管外科・内科

はが まなぶ
羽賀 学先生



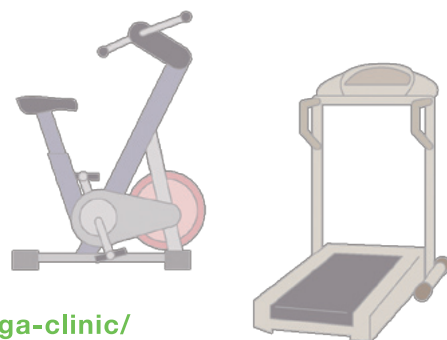
専門領域

心臓血管外科・下肢静脈瘤レーザー治療・
心臓リハビリテーション・アンチエイジングドック

医師・医院PR

下肢静脈瘤レーザー治療、心臓リハビリ、アンチエイジングドックを中心に診療しております。静脈瘤については、様々なニーズに対応できるよう5種類の医療用レーザー・光治療器を導入、血管内レーザー治療から対外照射による静脈瘤治療、色素沈着の治療等にも対応できます。心リハでは、CPX（心肺運動負荷試験）を施行し、運動時の心肺機能評価が可能です。予防医学についても、抗加齢医学会専門医を取得、取り組んでいます。

<http://www.haga-clinic.com/> 〈羽賀先生のブログ〉 <http://ameblo.jp/haga-clinic/>



羽賀心臓血管外科クリニック

心臓血管外科・内科

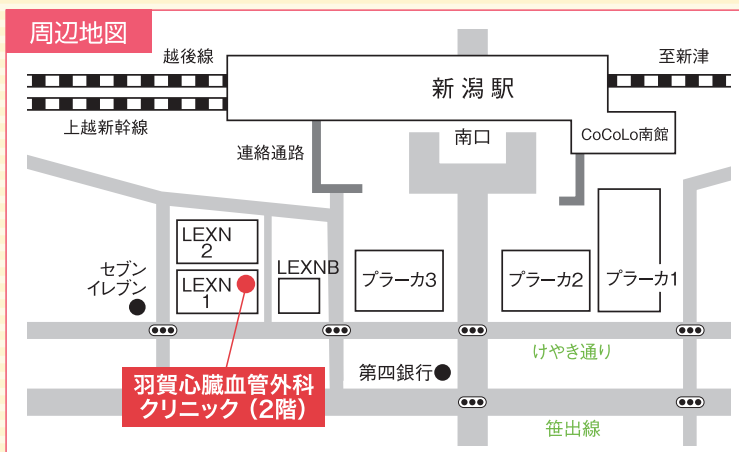
〒950-0917 新潟市中央区天神1-12-7

LEXN1 2F

☎025-244-5539

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	×
15:00~18:00	○	○	×	○	○	×

◎休診日/水曜午後 土・日曜祝祭日





当院の部署を

職場探訪

紹介します!



職場探訪は、院内報MINDに毎月掲載しているコーナーです。地域のみなさんにも紹介させていただきます。

B3病棟



B3病棟は、腎膠原病内科・消化器内科・代謝内分泌内科病棟です。看護師28名、看護補助者3名で、毎日のケアを行っています。私も、6月からB3病棟に異動して、3ヶ月です。その中で感じたことからB3病棟を紹介したいと思います。

誰からも、「B3病棟は、たいへんだよ!・・・こ〇〇よ」と言われ、なにが「たいへんで、こ〇〇のか?」恐る恐る異動してきましたが・・・来てみれば、「スタッフが明るい、さっぱり・患者思い・仕事がテキパキ・」と正反対の感想で働いています。いつも50床満床に近い入院患者数、その中での新入院患者さんの受け入れ、糖尿病・透析患者の教育指導、処置室でのラジオ波など、スタッフは、「患者さんのため・・・」とどんな時も力を出し切ってケアしています。(毎日走り走り仕事をしています)本当に、個人の力量とチームワークにより日勤人数13名+看護補助者3名、準夜勤4名、深夜勤3名が、合わせた人数以上の仕事量をこなすことができる病棟だと感じています。これからも、この病棟のスタッフは、患者さんのために頑張るでしょう。

患者さんへの笑顔は絶やしません、ナースステーション内では真剣に、意見を交わしあい、仕事をしているため、もしかして、外から見ると「こ〇〇印象」が生じているのかなど分析しています。(世間で、人は外見で9割決まるといわれていますから)誰に対しても、いつでもどこでも笑顔が絶えないチームであるよう・・・B3のスタッフの一員となり、努力していきたくなる病棟です。

(B3師長 佐藤志津子)

B4病棟



こんにちは、B4病棟です。当病棟は、消化器外科病棟で年間800件を超える手術をこなし、同時に化学療法や終末期の苦痛緩和に至るまで、看護の内容は多岐にわたっています。そんな消化器外科病棟の医師は、強い個性と独特の雰囲気がある常勤医師5名と温かな非常勤医師が2名。見た目は怖い・・・常勤医師ですが、朝・夕と回診を行い、患者さんにとっては安心感を与えてくれる「頼りになる存在」です。看護スタッフは行動力のある・・・忘れ物の多い羽田師長を筆頭に、明るくパワフルな看護師31名、看護補助者2名で構成されています。

今年度の病棟目標はプライマリーを充実し、チーム全体で患者さんが満足できる医療を提供することです。B4病棟の半数以上が、がんの患者さんです。患者さんの多様化するニーズに対応していくために、薬剤師、栄養士、リハビリ、MSW、退院調整看護師、認定看護師など様々な職種と連携を図りながら日々患者さんと向き合っています。B4病棟のスタッフは患者さんと共に喜び・悲しみ、患者さん中心の看護を提供していく、そんな心優しい人たちの集まりです。ときには患者さんの苦しみにのまれ、自分達も悩み苦しむことがありますが、そんな時はスタッフ同士で情報交換を行い、みんなで乗り越えています。どんなに飲み込まれたり、どんなに激務でも頑張るB4スタッフはパワフル集団と言えるでしょう。

今後プライマリーナーシングの定着とスタッフの継続教育を中心に頑張っ

て取り組んでいきます。(B4病棟 がん性疼痛看護認定看護師 石徹白奈都美)



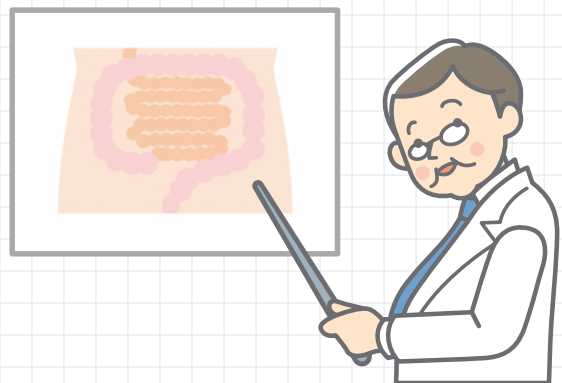
がん診療セミナー2012

開催報告

3月17日（土）、ANAクラウンプラザホテル新潟において、がん診療セミナーを開催いたしました。特別講師として、新潟県立がんセンター新潟病院の外科部長 瀧井康公先生をお招きし、『大腸癌に対する抗癌剤治療の進化と切除不能大腸癌肝転移に対する最新の治療』と題し、大腸癌の標準治療の変遷、新規抗癌剤や分子標的薬剤の開発による最近の化学療法への進歩、更にはこれら薬剤による術前化学療法を手術と組み合わせることにより、切除不能肝転移の治療成績が非常に改善したことなどを、約1時間にわたりご講演いただきました。院内外から多職種60名の参加がありました。地域がん診療連携拠点病院に指定されてから、今回で2回目のセミナー開催となりました。今後も定期的な開催を予定しておりますので、是非ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



新潟県立がんセンター新潟病院 外科部長
瀧井 康公 先生



新規登録医紹介

医院名	診療標榜科目	住所	登録医名
村山内科	内科	新潟市中央区東大通2-4-10 日本生命ビル2F	村山 悟
にわやまハートクリニック	内科・循環器内科	新潟市中央区米山1-24	庭山 正信
舞平クリニック	内科・人工透析・脳神経外科	新潟市江南区平賀70	藤川 浩一

※H24年3月31日現在、登録医総数は377人です。

第170回 臨床検討会開催のお知らせ

日時 平成24年4月24日(火) 19:00～

会場 済生会新潟第二病院10F会議室

担当 代謝・内分泌内科

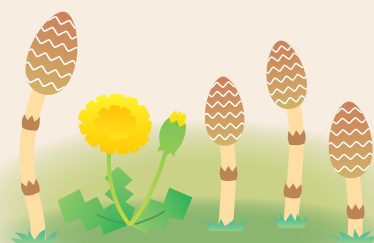


連携医療機関のみなさま 表紙を飾ってみませんか？

引き続き、表紙を飾っていただける
写真を募集しています。

ご自慢の写真はありませんか？

お問い合わせは、
地域医療連携室までお願い致します。



編集後記

震災からもう1年。“復興”という言葉を毎日耳にしても、ニュースや新聞はまだまだ
厳しい被災地の現状を伝えます。同時に私たち日本人にとって特別な思いがある桜の季節
になりました。その桜を、東北の被災各地に植樹しようというプロジェクトがいくつも立
ち上がっている事をご存じでしょうか。被災した自治体のみならず、NPOや企業がそれ
ぞれ被災地を桜で満開にしようと取り組んでいます。また今年は、日本からワシントン
D.C.へ桜が寄贈されてちょうど100周年。現在その子孫樹は多くのアメリカ国民に親しま
れており、その苗木を被災地へ植樹しようと賛同者を募っている企業もあります。数年後
の春、復興の進んだ桜満開の東北の地が、満開の笑顔でにぎわう事を願ってやみません。

(齋藤 浩生)

